

平成28年12月 9日

県政記者クラブ加盟各社各位

県北農林事務所安達農業普及所

平成28年度安達地方きゅうり栽培技術向上セミナーの開催
について

安達地方における夏秋きゅうりは、基幹品目として栽培されておりますが、作業労力の競合から、こまめなかん水や防除ができず、病害虫が蔓延し、収穫の切り上がりが早まるほ場が見られています。

そこで、作業の省力化・軽労化をすすめ、きゅうりの安定生産と産地規模の維持・拡大を目指すことを目的にセミナーを別紙開催要領のとおり開催しますのでお知らせします。

問合せ先

県北農林事務所安達農業普及所 次長 鵜浦成子

電 話 0243-22-1127

県庁内線 8-11-203-88-22

【ふくしまから はじめよう。攻めの農業技術革新事業】

平成28年度安達地方きゅうり栽培技術向上セミナー開催要領

1 目的

安達地方における夏秋きゅうりは基幹品目として栽培されており、県内市場だけでなく京浜の各市場に出荷され、品質面で高い評価を受けている。

しかし、近年は高温・少雨や長雨・日照不足等、天候の影響を大きく受けており、その中において、作業労力の競合から、こまめなかん水や防除ができず、病害虫が蔓延し、切り上がりが早まるほ場が見られている。

このことから、ソーラーパルサー導入によるかん水労力の省力化や耐病性品種の導入等による防除回数の削減等、作業の省力化・軽労化をすすめ、きゅうりの安定生産と産地規模の維持・拡大を目指すことを目的とする。

2 主催

福島県県北農林事務所安達農業普及所

3 共催

ふくしま未来農業協同組合

4 開催日時

平成28年12月12日（月）13：30～15：30

5 開催場所

二本松市岳下住民センター2階研修展示室（二本松市三保内72-1）

6 内容

(1) 現地実証ほの結果報告

「日射制御型拍動自動灌水装置導入によるきゅうりの省力化栽培について」 報告者 安達農業普及所

(2) 講演

「耐病性品種等導入によるきゅうりの省力化栽培について」

講演者 種苗メーカー

7 参集範囲

J Aふくしま未来安達地区やさい部きゅうり専門部会、二本松丸八出荷組合、丸原野菜出荷組合、農業振興課、管内市村、ほか